

いなべ市温水プールでの水泳授業が始まっている。昨年度は秋、今年度は春。1年おきに時期がかわっていく。春前半は高学年から▼わたしの部屋の壁の向こうがバスの発着場となっているので、子どもがバスに乗り込む時の声がよく聞こえる。ちょうど、4年生がバスに乗り込むところだった。ある子がお願いしますとあいさつしたあと、「ちっちゃい声やな。もっと元気よくあいさつしろよ」少々言葉は荒かったが、威勢のよい声が聞こえてきた▼しばらくすると、「お願いします」とそろった声とともにバスが走り出していった。この学年は、去年から「あいさつをがんばる」と張り切っている。授業の前後のあいさつもピカイチ▼ほどなくして、4年生が帰ってきた。今度は職員室にいたので、ちょっと耳を澄まして聞いていた。距離があったからだろう、あいさつの声は聞こえなかった。しばらくすると声を合わせて「ありがとうございました」と聞こえてきた▼個別のあいさつは、相手意識が必要。小さな声でも、運転手さんに気持ちが届けばよい。元気いっぱいならそれもよい。声を合わせて大きな声であいさつするのは、これまた耳に心地よい。聞いているだけで元気が出る▼行も帰りも壁越しに聞こえてきたものだから、子どもがどんな表情だったのかはわからない。しかし見なくてもわかる。大きくても小さくても笑顔があふれていたはず。